

## ■ 環境衛生

管内の水道普及率は、全国、全道の普及率を上回っています。

一方、令和5年度の管内水洗化率は、92.8%で全道平均（96.5%）を下回っています。

また、令和4年度の管内のゴミの1日の一人当たりの排出量は972gで、リサイクル率は20.5%となっています。

過去3年間の傾向では、ごみの1日一人当たりの排出量は全国的には減少していますが、管内では増加傾向にあり、リサイクル率は全国的に横ばいの傾向にあります。

### ◆ごみの1日一人当たりの排出量（g）

	R2年度	R3年度	R4年度
全国	901	890	880
全道	949	941	937
空知管内	940	966	972

### ◆水道普及率（%）

	R2年度	R3年度	R4年度
全国	98.1	98.2	98.3
全道	98.2	98.3	98.3
空知管内	98.7	98.7	98.7

### ◆リサイクル率（%）

	R2年度	R3年度	R4年度
全国	20.0	19.9	19.6
全道	23.4	23.5	22.9
空知管内	21.7	21.1	20.5

（参考資料）「令和2年度北海道の水道」  
「令和3年度北海道の水道」  
「令和4年度北海道の水道」

（出典）「一般廃棄物処理事業実態調査」（環境省）

## ■ 住宅

管内の令和3年度の住宅着工戸数は1,346戸あり、そのうち持家は786戸で借家は560戸となっています。（令和3年度建築統計年報より）

また、管内の公営住宅管理戸数は、令和6年3月31日現在、道営住宅1,828戸、市町営住宅13,657戸となっています。

令和5年度における公営住宅の建設実績は、市町営住宅101戸であり、地域の森林資源を活用した木造公営住宅や、子供からお年寄りまで、全ての人々が安心して暮らせる住まいの実現を目指し、「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた公営住宅の整備を進めています。

## ■ 防災

管内は、石狩川水系の上流部から下流部に位置するため、過去に大雨等による大きな災害に見舞われており、近年では平成23年、平成24年、平成28年と浸水被害が連続して発生しました。

また、令和5年に雨竜川の氾濫により浸水被害が発生しました。

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、三笠市・長沼町で震度5強、栗山町・由仁町・南幌町で震度5弱を観測し、重傷1名・軽傷5名、住家半壊3件・一部損壊94件が発生した他、全道域停電「ブラックアウト」により多くの道民生活に影響がでました。

令和5年度の雪による人的被害については、死者1名、重傷12名、軽傷47名となっており、発生原因は、雪下ろし・除雪が55名、落雪が7名となっています。

◆雪による被害状況（R5.11.1～R6.3.31）

人的被害			
死者	重傷	軽傷	その他
1名	12名	47名	3名

発生原因内訳		
雪下ろし・除雪	落雪	その他
55名	7名	1名

（危機対策室調べ）

■交通安全

令和5年における道内の交通事故の死者数は131人となり前年より16人増加し、発生件数と傷者数ともに増加しました。

管内の交通事故の死者数は12人となり前年より1人増加し、発生件数と傷者数ともに増加しました。

交通安全対策の推進に向けて、市町及び交通安全推進組織をはじめ関係機関・団体等、警察署と連携して、交通安全運動を中心に飲酒運転根絶の取組や街頭啓発等の交通安全活動を実施しています。

◆全道の交通事故発生状況

◆管内の交通事故発生状況

	R元	R2	R3	R4	R5		R元	R2	R3	R4	R5
発生件数	9,595	7,898	8,304	8,457	9,082	発生件数	391	315	398	415	442
死者数	152	144	120	115	131	死者数	11	8	9	11	12
傷者数	11,046	9,043	9,598	9,785	10,601	傷者数	478	404	477	497	543

（北海道環境生活部「交通事故統計分析表」）

■道路交通

全国で最も長い直線道路を有する国道12号をはじめ、管内の国道、道道、市町村道の路線実延長は、令和5年4月1日現在で8,214kmとなっており、全道の約9.2%を占めています。

管内の主要事業は、通行不能区間を解消し南空知地域と上川南部地域間の物流・観光・防災等に資する美唄富良野線の道路新設事業を行っており、平成27年3月に幌子トンネル（延長1.8km）が貫通、平成31年2月には東美唄トンネル（延長660m）も貫通し、令和6年度は舗装工などを引き続き施工予定で、開通に向け工事を推進します。